2026 年度　第 1 回

経済・経営学会研究会のお知らせ

日時：１０月２２日（木）14 時-17 時 15 分
場所：１０号館３階 第二大会議室

温暖化対策と国際資本移動の応用一般均衡分析

加 藤 真 也 氏（経済学部教授）

本発表では、17 地域・18 部門の静学的応用一般均衡モデルを用い、国際資本移動が温暖化対策の経済効果をどう変えるかを分析する。GDP が改善しても厚生が悪化する仕組みや、対外収支の設定によって厚生評価が逆転する理由に着目する。さらに、資本市場の参加範囲によって変わる日本への影響を示し、GDP だけでは捉えられない政策効果を考える。

起業および事業承継における正当性の獲得

細 谷 功 次 氏（経営学部准教授）

実績も信用もない新規参入者は、どのようにして周囲に受け入れられるのか、という問いを扱う二つの場面の研究を紹介する。一つは自己資金で起業した経営者が最初の受注を得る過程、もう一つは経営者を志す個人が投資家の支援を得て中小企業を承継する「サーチファンド」において、外部後継者が従業員や取引先に受け入れられる過程である。正当性研究を共通の視点として、両研究の枠組みと調査の構想を報告する。

連絡先：経済・経営学部資料室（内線 3427）友田